

## 島根県美郷町で採集されたアトラスオオカブトについて

皆木 宏明\*

### Notes on *Chalcosoma atlas* (Linnaeus) found from Misato Town, Shimane Prefecture

Kohmei Minagi

2015年に島根県美郷町において、外国産カブトムシの1種であるアトラスオオカブト *Chalcosoma atlas* (コウチュウ目コガネムシ科) が採集されたので報告する(図1)。

2015年7月18日午後9時ごろ、美郷町在住の飯塚智、飯塚友紀の父子が昆虫採集のため、灯火に集まる昆虫を狙って、夜間に訪れた美郷町粕淵にあるコンビニエンスストアの駐車場において、アトラスオオカブトの生体オス1個体を採集した。採集した際、日本のカブトムシと形態が異なるため、採集者が三瓶自然館へ問い合わせ、筆者が本種と確認した。

アトラスオオカブトはインド北部から東南アジア

に分布し、オスの体長は50~110mmになるカブトムシの1種である(土屋, 2016)。採集された個体は、体長70mmと本種としては小型の個体であった。

採集者によると採集した当時、コンビニエンスストアでは外国産カブトムシ類は販売されておらず、店舗の照明に誘引されて夜間飛来した個体ではないかとのことだった。

本種と同属で東南アジアに生息するコーカサスオオカブト *Chalcosoma chiron* を用いた研究では、幼虫の低温耐性に関する実験結果から日本本土での越冬は難しいとの報告がある(岡本・中村, 2009)。コーカサスオオカブトに比べ、アトラスオオカブトはより温暖な低標高地に生息するため、コーカサスオオカブト以上に低温に耐性がないと考えられており、日本での定着は難しいと考えられる。そのため、今回の事例は発見場所近隣での飼育個体が逸出し、コンビニエンスストアの照明に誘引されて夜間飛来した個体である可能性が高いと思われる。

ただし、コーカサスオオカブトの成虫は日本在来のカブトムシ *Trypoxylus dichotomus* と餌場で競合する可能性も指摘されており(岡本・中村, 2009)、カブトムシより大型になるアトラスオオカブトにおいても成虫は競合種となることが推察される。そのため、野外での確認の有無や発見された際の状況には今後も注意が必要である。

なお、採集された個体は捕獲後、採集者の自宅で飼育され、同年10月上旬に死亡した後、三瓶自然館に寄贈された。

最後に本報告にあたり、本種の採集情報の提供及び採集個体を寄贈頂いた、飯塚父子に深謝いたします。

a



b

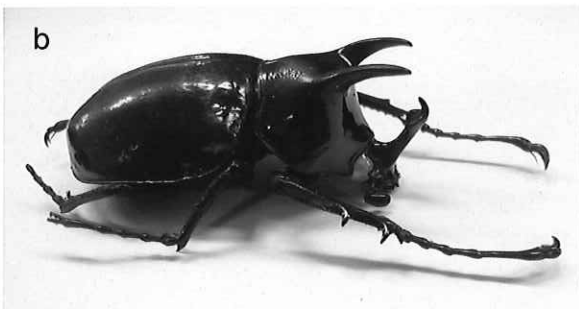


図1 採集されたアトラスオオカブト (a. 上面 : b. 側面)

\* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

採集種 アトラスオオカブト 1♂  
採集場所 島根県美郷町粕淵  
ポプラ邑智粕淵店駐車場  
採集日時 2015年7月18日午後9時頃  
発見者 いいつか さとる 飯塚 智(父)・いいつか ともあき 飯塚 友紀(長男)

## 引用文献

岡本八寿祐・中村雅彦(2009) コーカサスオオカブトムシの日本  
本土産カブトムシに対する生態リスク評価. 保全生態学研究  
14(2) 193-202.

土屋利行(2016) 初めて飼う世界のカブトムシー世界のカブトム  
シ飼育ガイドー. むし社. 32pp.